七夕 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人
印刷人 岡田弘威
印刷所 石城郡平町紺屋町十四 加納活版所
發行所 福島縣石城郡平町紺屋町十五 磐城時報社
一部金弐錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

至る處で大うけの 木村候補の演說

人氣愈々あがる

決定した演說會日割

政友會公認候補者木村淸治氏の政見發表演說會は去る五日から應援辯士として鈴木辰三郎、白井一郎、草野順平、中野浩忠、佐々木龍若、千葉彦治、門傳淸吾、大峯虛、酒井喜代正、眞木桓、川崎文治、柏木哲、草野七五三之助、新田目善次郎の各氏が加はり、木村候補者と共に大野、四倉、草野、神谷各町村で堂々言論の陣を張り至る處で有權者を感激させてゐるが七日は平窪村、赤井村の二箇所で開催の筈である、尙ほ今後決定した演說會日割は左の通りである。

▲八日午後一時川前小學校、午後六時上小川小學校▲九日午後一時好間小學校、午後六時好間炭礦劇場▲十日午後一時永戸村合戸小學校、午後六時中三阪小學校▲十二日午後一時內郷村宮磐城劇場、午後六時綴內郷座▲十三日午後一時湯本町三函座、午後六時磐崎小學校▲十四日午後一時上遠野劇場、午後六時入遠野小學校▲十五日午後一時田人村小學校、午後六時川部村小學校▲十六日午後一時勿來町劇場、午後六時錦村小學校▲十七日午後一時山田村小學校、午後六時植田町菊田座▲十八日午後一時平町聚樂館、午後六時大浦村小學校

◎第二班

▲十四日午後一時飯野村小學校、午後六時夏井村小學校▲十五日午後一時高久村小學校、午後六時豊間村小學校▲十六日午後一時江名小學校、午後六時小名濱劇場又ハ公會堂▲十七日午後一時鹿島村小學校、午後六時玉川村小學校▲十八日午後一時渡邊村小學校、午後六時泉村小學校

根もない中傷をうけ 佐川氏聲明書を發表

劣惡な一派の宣傳

立候補發表以來日に優勢を加へつゝある中立佐川候補に對して各種の流言蜚語を放つ者ある事は昨報の如くであるが、過般四倉町に開かれた民政黨候補者比佐昌平氏の應援演說會に於て辯士小松某は「某中立候補者は中途に於て候補を斷念するらしく言はゞ幽靈候補者である。云々」と公衆の前で暗々裡に佐川氏の中傷的言辭を弄したが、聞く處によると小松某は最初佐川氏を應援せんとするが如き態度を示した事もあり何等かの關係で佐川氏に反對の態度をとるに至つたゝめのであらうが、之について佐川氏は「斷じて止める事はない、かゝる事は當選妨害に類似した事で怪しからぬ」と聊か憤慨の色を眉宇に漂はせてゐる。尙ほ佐川氏は、かうした流言を耳にしたので七日左の如き聲明書を發表した。

聲明書

私は敵の重圍に陷り乍ら孤軍奮闘して居ります、私は最後の一人となるまで戰うつもりであります、矢はつき、刀たれて後止むの決心でございます、然るに敵は、爲めにする處ありて私が中途で挫折するかの如き宣傳をしてゐると聞きます、私は斷じて左樣な事はありません、無根の事實であります、かくの如き流言に迷はされず、各位には何分の御同情と御後援をた願ひ致します。

二月七日

第三區衆議院議員候補者 佐川潔

▲選擧郵便數 平郵便局に於て六日まで引受けた選擧に關する無料郵便引受數は二萬通で七日は一萬四千通を引受けた配達は約一萬二千通であると。

明年度から 平商校擴張

平町立商業學校は昨年來內容の充實をはかり職員六名を一躍十一名に增員したが來る四月の新學期からは從來の定員二百五十名を三百名に增し六學級とし職員を更に一名增員一ヶ年の經費豫算一萬九千圓計上に內定した。

伊東知事 濱通巡視

縣知事伊東喜八郎氏は六日午後隨行員と共に自動車を驅つて來平し尼子亭に投宿平警察署に於て選擧取締りに關し打合せをなし七日午後一時植田町に向つた

平局新築と同時に 電話線を地下線にする

敷地登記は九日頃行ふ 總工費二十六万圓

平郵便局の新築移轉問題は屢々報導した如く平町三丁目の現在建物が狹隘なので四丁目に移轉する事となり敷地六百坪の買收交渉中であつたが、一坪二百圓から二百五十圓位、總額十一萬圓で交渉纏つたので來る九日頃地主と正式の所有權移轉登記をなす事になつた、同敷地の建物は來る五月末までに之を取拂はせた上具体的の設計に移り本年度中に着工して昭和四年度に完成する筈で建物の工費十五萬圓、敷地買收費を合せて二十六萬圓である、尙ほ新築と同時に本町通りの電信、電話線を地下線にする筈である。

古井戸から拾ひあげて 山林に埋めかへる

勿來の嬰兒殺し後報

屢報植田警察署管內に起つた不義の嬰兒殺し事件について其後精査し、處左の如き事情が判明した。

勿來町字白米堺居住大工職栃木縣芳賀郡小貝村生れ佐藤保次郎(四五)は病妻の看護のため姪に當る佐藤一馬の娘ていの(十八假名)と不義を結び、女兒を分娩したが、之を絞殺した。

その噂があるので植田署で家宅搜索の結果保次郎方に、ていの書いた「あの事は伯父さんにも罪がある云々」の手紙を發見し之を確實な端緒として調査した結果去る二日保次郎を逮捕し、ていは四日京都市に於て逮捕、調べた結果

嬰兒は昨年六月郷里で產み之を抱えて勿來町に來り十月十日未明、之を絞殺して附近の古井戸に投棄したが、數日後附近の子供に發見されたので保次郎はていの父一馬と相談の上共謀で深夜密かに拾ひあげ密柑箱に入れて同村安瀬戸地內杉山に埋めた

事を自白したので、去る五日平檢事局から窪田檢事、遠藤豫審判事一行出張し腐爛した死体を掘り出して醫師の鑑定を求めた處絞殺の傷が殘つて居る事確定した。共犯者一馬は行衛不明である。

▲稻增收授與式

山田村農會の稻增收品評會褒賞授與式は十一日午前十時から同村小學校に開き大山技師臨席の筈、受賞者は三十名である。

▲村上訓導葬儀

去る二日心臓病で死亡した平第二小學校訓導村上德一(二八)氏の葬儀は七日城山自宅出棺で行はれた。

▲平日用品値段

平町の一月中日用品物價は左の通りであつた。

▲白米一等三十五錢、二等三十四錢、三等三十三錢▲白麥二十一錢、平麥十八錢▲醬油六十錢▲淸酒一圓(各一升)▲砂糖玉十六錢、白十四錢、黑十一錢▲豚肉上五十錢、並四十錢▲牛肉上六十錢、並三十錢(各百匁)▲味噌八十錢▲炭檜九三十五錢、檜割二十七錢雜九三十錢(各一貫匁)

佐々光子氏 平署に寄附

磐城高等女學校教諭佐々光子氏は去る五日夜四倉町の火打合見物に行き現金十一圓入りの財布を拾ひ平署に屆け出でた處、落し主平町大工町小林啓四郎から謝禮として一圓五十錢を貰つたので之を平署人事相談所に寄附した。

▲石城海兵檢査

石城郡の海軍志願兵檢査は九、十日兩日平町公會堂に於て執行される筈であるが平町の志願者は八名にて檢査執行官は海軍大佐公家種次外軍醫大尉大田原肇氏外四名であると。

▲災害豫防標語

好間村古河炭礦では今回災害豫防の標語を募集した處左の如き面白いものが出來た。

一等 紐の脚絆と注意の紐は締めて結んで行かしやんせ。

二等 災害防ぐに時節はいらぬふだんの注意が第一よ。

印刷物は 加納活版所

娘を弄んだ 男の余罪

七日送檢

昨報—安積郡富久山村吉次郎二女竹內ナカ(十八)といふ妙齡の處女の貞操を弄ぶ可く妻にすると欺いて連れ出し去る一月三十一日から平町驛前八幡屋旅館に夫婦と稱して泊り込み中を平署に檢擧された田村郡三春町字新町梅田一枝(三四)は平署で嚴重取調中の處同人は放火罪で懲役五年の刑を終わたもので去る一月二十六日三春町字八幡町竹林義三郎方に忍び入り現金三十圓を窃取した外同町橋本巳代治方から現金十五圓の詐欺を働いた事發覺したので七日平檢事局に送つた。

▲家出少年

内郷村佐藤鍛冶屋雇人那須田幸太郎（一四）は去る四日主人の虐待に堪え兼ねると稱し飛び出したが懷中無一物となり五日夜福島署人事相談所の保護をうけた。

▲灯の街のうわさ

國民の半谷元老、六日夜、蛇の目傘の雫をしぼつて色街の旗亭梅林に上り込んだ、少し早いが春雨と言ひ度い程幽稚な雨の音と、美妓品澤たちよこのお酌で早くも陶然、話はありし日のお客の噂に轉じたひやかしちや嫌ですよと言ひ乍らも、たちよこは嬉しさにパッと頰を染めて爪彈きで唄ひ出した。

◎泣いておりますうらんでゐます、くやしいけれども憎かない。

たちよこの歌は、にくかないに力を入れた處を見ると、昔の瘠せた主さんを偲んでゐた事は確かであるが、本尊の半谷元老、あの歌つた時の目つきが怪しかつたとのろけてゐる。春がもう來たと見える。

清野女史生花奥許し

平町南町平産婆看婦學校長清野きよ女史は活け花小原流平一鶯師の高弟であるが、今回大阪市家元から最高奥許しの免狀を下附された、披露會は四月花時生花を揃えて盛大に行ふ筈である

讀者と記者欄

（問）私事五歳の時父に死別し母には生別れ、叔父や情ある人々の手によつて成長し、只今奉公して居りますが、母は實家に歸つてから私を思つて今日まで再緣もせず針仕事などして暮して居り、よく手紙など出しますと必ず返事をくれ、奉公中は外に出ずによく働けと言はれますが、逢ひに行きたくてたまりませんが行つて笑はれるやうな事はないでせうか、時期を待つた方がよいでせうか母は仙臺に居ります。（貞治生）

（答）おいくつになるのか知らぬが、母上の敎へを守つて忠實に懸命に働き獨立の出來る身となるやうに奮鬪されんことを希望します、さうした後にお會ひなさるならば母上も喜ばるゝことであり、さうすることが母上の現在の御希望と想像します、たゞ手紙に依つて母上を慰めなさることがお互の爲めであります。

（問）八歳の娘、生れつき耳が不自由で日一日と成長するに從ひ親として不憫を增し歎き悲んで居ります、何とか適當の職業を與へ度く考へて居りますが、女髮結と裁縫と何れがよいでせうか、就いては右の事を致させますのにも私共手元不如意の爲め一層困難致します、此樣な者を最低費用でお取扱ひ下さるやうな處はございませんでせうか。（勝見生）

（答）耳の惡い点から考へると裁縫の方がよいと思ひます、それを覺えさせるに就いて御一家の不如意もお察し申しますけれども年も幼いし、さうした身体ですから何處へ預けても心配が絶えないで却つてお爲めにならぬと存じます、せめて十三四までお手元で育てその間耳の治療に盡しつゝ適當な師匠につけて少しづゝ習はせ、その間にその人に打あけてお頼みなさるがよいと思ひます。

なかや洋服店
平町二丁目
電話二〇三番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町
電話一七〇番

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
高久病院
院長 高久忠
平町 電話一三五

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
慈惠醫學士 新妻由五郎
日本醫學士 高橋貫
赤心堂病院
田町 電話四七五

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

胃腸
内科
專門
十二指腸虫病
梅毒
淋病 婦人病
專門
皮膚病
松村病院
平南町
電話一〇七

推薦廣告
木村清治君
右本縣第三區衆議院議員候補者として公認推薦す
昭和三年二月
石城政友倶樂部
福島縣石城郡泉村大字泉字泉五十九番地
小林臧次

移轉廣告
弊院從來福島縣平町驛前通りに於て診療に從事致居り候處今回中田町（舊診療所の裏通り）に新築移轉し從前通り一般診療に從事可致候
平町中田町七十一番地
新築移轉所
合津耳鼻咽喉科醫院
電話五五九番

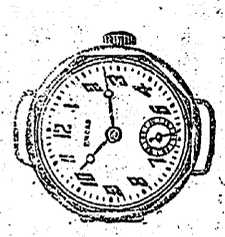
度修支那六神丸
特約店 平町五丁目 山野邊藥局

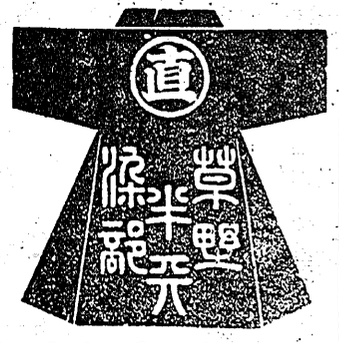
きゝめで賣れる
高貴藥 濟命ピリン
定價廿錢卅錢五拾錢壹圓
◎かぜ◎ネツ◎頭痛◎齒痛◎神經痛◎リウマチスの方よ!!
一時も早くきゝめ第一の本劑を服藥され健康体となられよ
發賣元 平研町 水野藥局
◎有名藥店にあり

カキ貝料理の王
古料理 一の井
電話一六七番

印刷工見習
五名至急募集
十四五歳迄の者……希望者來談あれ
平町仲町
電話七三四番
二葉印刷所

大衆向の實用腕時計

拾型 銘々石入
保險付
拾八金側拾型パリス金支エトウ
特價拾壹圓
クローム側拾型
特價五圓八拾錢
絶對他の追從を許さぬ破額品!!

拾貳型 銘々石入
銀側拾貳型パリス拾石入
勞働用に丈夫一式
特價五圓九拾錢
平町三丁目
電話一九番
大谷時計病院



金牌受領
印半天專門
優秀品の証明
草野染工場
磐城平町
電話三四八番
◎徒弟入用（徒弟契約に付ては年明きに際し有利に御相談申上候）